

2004年7月14日

各位

双日ホールディングス株式会社

スタンダード&プアーズによる
当社連結子会社「双日株式会社」への格付け結果の件

本日、スタンダード&プアーズ(S & P)は、当社連結子会社である双日株式会社の格付けについて、長期優先債券格付けは「シングルBプラス(B+)」に維持したまま、長期会社格付けを「トリプルC(CCC)」に二段階引き下げることを発表しました。また、両格付けに対する引き下げ方向での「クレジット・ウォッチ」を引き続き継続することを発表しました。

S & Pのプレス・リリースによると、“双日は昨年来、問題資産の処理を積極的に進めており、当初の再建計画は概ね予定通り進捗している”と評価する一方で“同社の再建計画が見直され、債務免除や債務の株式化など、何らかの債務不履行を伴う金融支援の可能性が一段と高まったと判断した”としております。しかし、本日の朝日新聞朝刊に対する当社コメントの中でも述べておりますとおり、当社は事業計画の達成に向けて自主的な経営努力を続けており、現時点でUFJ銀行に対し、金融支援を要請しているという事実はなく、S & Pが指摘している内容の可能性が高まっているというような状況変化はありません。

従いまして、S & Pが本日発表したレーティング・アクションについて、当社グループとしては納得できるものではありません。

なお、S & Pの担当アナリストに確認したところ、本日の格付け結果は、双日の信用力、事業基盤及び財務内容の変化によるものではなく、あくまでも取引銀行による債権放棄や債務の株式化が含まれる可能性が高まったとS&Pが判断したことに基づくものであるため、逆に銀行の債権以外は守られる可能性がより高まるという意味で、社債保有者や一般債権者、取引先にとっても安心材料になると考えるとの説明がありました。

当社グループといたしましては、引き続きお取引先や株主様、金融機関のご協力を頂戴しつつ、事業計画を一步一步着実に実行していく所存です。

以上